



2018年7月10日

各位

会社名 北興化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 中島 喜勝
(コード番号 4992 東証第1部)
問合せ先 企画部長 濱田 尚之
(TEL 03-3279-5151)

設備投資（新工場建設）に関するお知らせ

当社は、2018年7月10日開催の取締役会において、ファインケミカル事業の生産能力拡大のため、岡山工場内に新工場（合成第9工場）を建設することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 新工場（合成第9工場）建設の理由

当社は、3ヶ年経営計画『HOKKO Growing Plan2020(2018年度～2020年度)』において、ファインケミカル事業の「付加価値の高い製品の受託製造拡大」を長期戦略目標の一つとして掲げ、収益性と効率性の向上を図るための戦略的設備投資により、収益基盤の強化を目指しています。

新工場は、多様なニーズに対応できるように、ステンレスとガラスライニング^(※1)の反応缶や精留塔等を適所に複数設置した受託製造を主とするプラントですが、液体自動充填設備や自動精留塔などによる自動化や、制御室からの遠隔操作により、省力で安全な生産を実現します。さらに品質データを中央のコンピュータで一元管理することで、安定した製品品質を確保します。

本件設備投資により、岡山工場ファインケミカル事業の生産能力は約14%向上します。

当社では、中長期的かつ全社的な視点から、環境変化に適合した競争力のある生産体制の構築に向けた成長投資を今後も継続的に実施していくため、3ヶ年経営計画における投資計画を見直すことといたしました。その概要は2018年度決算発表時に公表いたします。

※1 グラスライニング：表面をガラスでコーティングすることで、酸性による耐腐食性と固形物の非付着性を向上させます。

2. 新工場（合成第9工場）の概要

所在地および敷地面積	岡山県玉野市胸上 402（岡山工場内）、約 1,200 m ²
主要新築建屋	鉄骨造り 5 階建て、延床面積約 2,027 m ² （予定）
主要生産設備	反応缶 8 基、精留塔など付帯設備
生産能力	430 t/ 年
着工時期	2018 年 7 月
竣工時期	2019 年 11 月末（予定）
生産開始時期	2019 年 12 月末（予定）
設備投資額と資金調達	約 23 億円（建物、設備）、自己資金

（ご参考）岡山工場概要

所在地 岡山県玉野市胸上 402

敷地面積 約 185,000m²

工場開場 1953 年 12 月 1 日

3. 今後の見通し

本件が当期（2018年度11月期）の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上